



ALUMNI

- アラムナイ -

都立墨田工業高校
学友会(同窓会)
略称「学友会」
事務局 発行

東京都立墨田工業高等学校 学友会(同窓会)

〒135-0004 東京都江東区森下5-1-7 TEL 03-3631-4928 FAX 03-3846-6683

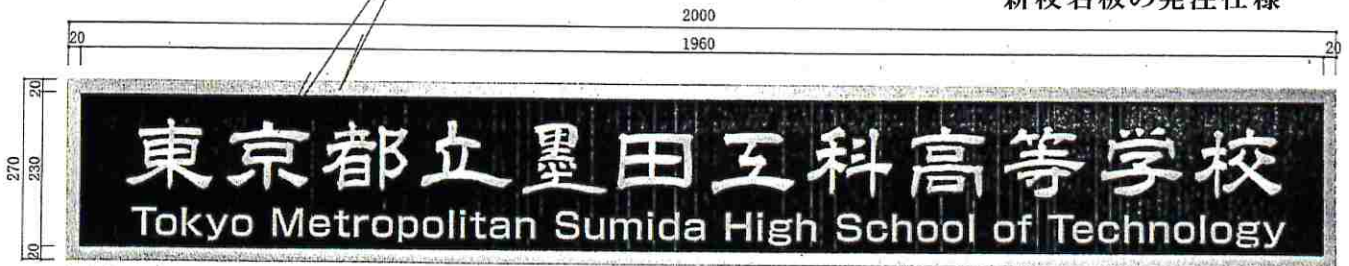
〒振替 00130-4-779048 (学友会運営基金支援振替番号)

墨工 122 年の伝統を背負い 再スタート

工業高校から 工科高校へ

砲金鑄物凹砂地・凸文字/ミガキ又はイブシ仕上げ

新校名板の発注仕様



【正門】 W2000×H270×D25

◆Next Kogyo START Project が本格的に始動！

情報化社会のめざましい進展など様々な社会状況の変化に伴い、これまで我が国を支えてきた「物づくの実務者」を数多く輩出してきた工業高校への入学希望者は激減しております。122年の伝統を誇る墨田工業高校定時制も全盛期には卒業生を140名も送り出しましたが近年はわずか10名程度です。

このような工業高校の衰退の状況を踏まえ、東京都は国の推進する第5期科学技術基本計画「Society5.0」を支える工業高校の実現を目指す“戦略プロジェクト”「Next Kogyo START Project」を立ち上げました。「Society5.0」とはこれまでの情報社会に続く新たな仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムによって人間社会を構築しようとする計画で、「Next Kogyo START Project」は、その実現のために工業高校を変革しようとする戦略と言えます。

その戦略が目指す工業高校の将来像のための具体的施策は、①DX人材育成などに向けた先進的な工業高校の実現、②未来を切り拓く教育内容・指導法の展開、③生徒が躍動する研究機会の創出、④魅力の向上・発信です。校名変更は「魅力の向上・発信」の具体策の一つです。

会員の皆さんにとって“墨田工業高校”の名前が消えてしまうのはとても寂しいことと思います。しかし、122年の伝統を生かして巣立つ卒業生が新しい時代に活躍することこそが墨工の使命であり、学友会はそれを支えていきましょう。

◆注目！！・・・「墨工」 TOKYO デジタルリーディングハイスクール事業
(先端技術推進校・VR等を活用する学校)に指定される



ご挨拶

都立墨田工業高校学友会(同窓会)
会長 黒河志光
(昭和40年機械科1組卒)

会員の皆様、大変ご無沙汰いたしておりますが、お変わりございませんでしょうか。

学友会の会合もコロナ過の為3年間開催出来ず、皆様とも疎遠になっております。このコロナ騒動の中で熟感しますのは、対面での話し合いによる人間関係の大切さが如何に重要な事であるのかを改めて思い知らされました。

奇抜な発想かもしれませんが、コロナが無ければウクライナとロシアの関係も戦争に発展しなかったのではと考えたりします。お互いに対面での話し合いができれば、何かしら妥協出来たかも、と考えてしまいます。今の状態では双方が引くに引けない状況となっており、核戦争も身近な問題として考えざるを得ないと思います。本来であれば国連が機能すればこのような状況にはならない筈と思うのですが、常任理事国という特権を持った国がやりたい放題の状態です。過去の歴史を見ても残念ながら結局は武力で勝った方が正義となってしまうと思います。日本も関係無いとは言っておられない状況で、どうしたら戦争が起きない様に出来るのか、経済が減速しても戦争だけは絶対に回避しなければなりません。その為外交努力だけで回避出来るか？軍事力を強化して相手の国に仕掛けられない様にするのか？いずれにしても相手が冷静な判断が出来ない場合(現在のロシアの大統領のような権力者)とんでもない事になる訳で一刻も早く終息することを願うばかりです。

さて、そんな中ほんの少しだけ明るい話題と感じられるのは、コロナに対しての対応に変化が生じ、第5類に引き下げコロナと共生して行こうと、世界中が動き始めた事で、旅行、飲食、会合等々が活発化し、経済も上向くのではないかとされる事です。これを逃さず学友会の総会を開きたいと思います。

我が墨工も次世代に活躍できる人材育成の名の元に、この4月から都立墨田工科高等学校と名称が変わります。学友会は墨工に想いを馳せる会員の皆様により運営を続けて参りましたが、ご承知の通り役員の高齢化、若年会員の少数化により運営が大変厳しい状況です。次回の総会においては、学友会の存続を含めた皆様の忌憚りの無いご意見をぜひお聞かせいただきたいと思います。

最後に、我々の学友会に大変ご理解とご支援を頂いているノーベル賞受賞者の大村智博士が今年米寿を迎えます。大変おめでたい事で、心よりお祝い申し上げます。

この機会に先生のご都合もあると思いますが、是非、「先生を囲む会」を学友会で開催出来たらと考えております。

令和5年1月吉日

「本校の現状と取り組み」

東京都立墨田工業高等学校
第26代校長 古藤 一弘



学友会の皆さま。こんにちは。二年目を迎えました古藤です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への基本的な対応は変わらないものの、行動制限は緩和されたため3年ぶりとなる墨工祭など学校行事はほぼ予定通り実施し、以前の状態にまた一歩近づけることができました。

主な行事として、7月15日(金)第1回球技大会(ドッジボール/バドミントン)、11月3日(祝)墨工祭、12月20日(火)第2回球技大会(バスケットボール)を実施しました。校外学習としては、4月23日(土)防災館見学および体験学習(本所防災館)、子どもを笑顔にするプロジェクトとして12月9日(金)バーチャルドッジボール体験(HADO ARENA)や1月11日(水)プロバスケットボール(Bリーグ)観戦(墨田総合体育館)を、また1月25日(水)第53回令和4年度都立高等学校定時制通信制課程演劇鑑賞教室(銀座プロッサム)を実施しました。

今年度当初の在籍数は、新入生が9名入学(内1名女子)、2年生10名、3年生13名(内1名女)、4年生5名計37名でスタートしましたが、年度途中で学業への熱意が無くなったり、経済的な理由であったりと様々な理由から、本校を去った生徒が4名おり1月末現在33名の在籍となっています。

転退学者を“0”にするためには、本校の学習内容や資格取得等の取り組みを一人でも多くの中学生やその保護者の方に知っていただくことが重要と考え、都立高校を会場とした説明会や地域の中学校など、様々な場所で広報活動に励みました。残念ながら、どの会場でも来場者の中で、本校に関心を持ち説明を聞いてくださる方は、決して多くはありませんでした。しかし、定時制の必要性を十分感じる機会を得ることはできました。

さて、今年度から、GIGAスクール構想の一環として、生徒一人1台の端末が導入され、新入生は学校指定の端末を購入することが義務付けられました。そして、その端末で試みたのが、始業前10分間の学習時間です。学習教材を導入し、教科科目を生徒自身のペースとレベルに合わせ、振り返り学習ができる教材です。もちろん、高校での学習に合わせた教材もあり、予習復習を行うこともできます。直ぐに、結果が出るとは思いませんが継続することで、思う以上の成果が期待できると信じています。3年後には、全生徒が端末を持ち、学習時間等で教材に取り組む姿を見ることができるでしょう。

さらに、Next Kogyo START Projectもスタートし、工業高校改革が進んでいます。令和5年4月1日からは校名が変更され、本校は東京都立墨田工科高等学校として、新たな歴史を重ねていくこととなります。

また、デジタルリーディングハイスクール研究校の指定を受けており、VR(バーチャル・リアリティ)を活用した教育実践を推進していきます。まだまだ、授業への活用には時間を要しますが、創造的な活動により、新しい価値の創出や都市課題の解決に貢献できる人材を輩出する工業高校の実現に向けて取り組んでいきます。そして、地域との連携、協同的な活動を通して、地域における墨工の価値をより高めていくことも今後の課題と考えております。

学友会の皆さまにおかれましては、今後とも本校ならびに定時制教育の発展のため、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

【学友会活動報告】

◆第28期運営体制

コロナ禍が相変わらずの状況のため第27期に引き続き今期の評議員会も残念ですが書面会議となりました。令和4年9月21日書面送付の評議員会において、第28期の運営体制は第27期を継続することが了承されました。

その直後、副幹事 菊谷茂夫理事(43A)がやむを得ない事情から辞任することになってしまいました。第28期の運営体制は以下の通りです。

学友会 第28期(2022.9.1~2023.8.31)運営体制			敬称略
会 長	黒河 志光(40M1)	第11代名誉会長	古藤 一 弘
副会長・会計	町谷 芳郎(34M1)	同 名誉会長代理	山本 將 英
幹事長・事務局	根本 康雄(36M1)		
会 計	石塚 敬一(42M1)		
会計監事	平野 新作(31E)	会計監事	佐藤 忠(36M2)
運営理事			
風間 道雄(35E)	松居 邦彦(36M2)	林田 元宏(36A)	渋谷 朋衛(37E)
川野 一夫(38E)	伊藤 榮(40M1)	平田 実(42M)	戸田 明(52A)
田中 洋(55A)	田代 克美(H1M1)	横山 良太(H1E)	渡辺 正敏(H1E)
栗原 俊昌(H5A)	片山 勇(H19 総合)	阿部 里志(H25 総合)	

【第27～28期活動報告】

令和4年1月～令和5年1月の活動概要は以下の通りです。

コロナ禍がなかなか落ち着きを見せず学友会の活動は残念ながら停滞したままでした。

1. 会議の開催

第27期 第1回理事会 書面開催(野村副会長の退任について:令和3年11月11日送付)

第27期 第2回理事会 書面開催(評議員会議案書審議:令和3年8月29日送付)

第28期 評議員会 書面開催(令和4年9月21日送付)

2. 新会員の入会

平成4年度卒業生の10名の方に入会いただきました。なお、卒業生は12名でした。

入会記念として校名入り「ネームカード」を贈りました。また、4年間皆勤及び精勤の4名の方々にはお祝いの図書カードを贈りました。

新入会の皆さんの今後のご活躍を期待しております。

3. 広報誌「ALUMNI」38号の発行・・・**学校公式ホームページに掲載されました**

令和4年2月、教職員・在校生、学友会評議員、特別会員(旧教職員)の一部の皆様にお贈りさせていただきました。会員全員に配布したいのですが費用等の関係で現在は難しい状況です。

しかし、今期は母校のご支援をいただき第38号を母校の公式ホームページに初めて全文を掲載させていただきました。

是非ご覧いただき、多くの会員の皆さんにこのことをお知らせください。

4. 母校との連携

①行事など

- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため入学式、卒業式には参加できませんでした。
- ・3年ぶりに墨工祭は実施されましたが学友会は参加を自粛しました。

②学校運営協議会・学校防災教育推進委員会

- ・令和4年度第1回会議、第2回会議は3年ぶりに通常開催され、学校運営の状況、特に生徒数の確保と校名変更等が話題となりました。いずれも、黒河会長、根本幹事長が出席しました。

③学校創立120周年記念DVDの作成

- ・都教育庁の内容承認手続きのため、コピーの発注が遅れようやく完成しました。

5. 区道3140号道路愛称命名に関する活動

- ・墨工同窓会と連携して活動を続けました。(7ページ特別報告参照)

◆学友会第27期 決算報告

【1】 収入

事項	予算額	決算額	説明
前年度繰越金	1,329,994	1,329,994	
入会金	10,000	50,000	卒業生12名中10名入会
その他	100,010	10,012	広告収入、有志支援金、利子
収入合計	1,440,004	1,390,006	

【2】 支出

事項	予算額	決算額	説明
活動費	180,000	56,865	アラムナイ発行等を含む
通信費等	110,000	35,654	広報費等を含む
会議費等	45,000	14,770	事務費等を含む
その他	130,000	0	創立120年事業費等を含む
支出合計	465,000	107,299	
次年度繰越金	975,004	1,282,707	
総合計	1,440,004	1,390,006	

【第28期活動計画】

第28期(令和4年9月～令和5年8月)の活動は原則として第27期を継続することとします。ただし、校名変更に伴う会則の変更などを行います。

◆学友会第28期 予算計画

【1】 収入

事項	予算額	説明
前年度繰越金	1,282,707	
入会金	0	
120年協賛金	50,000	
雑収入	10	利子等
収入合計	1,332,717	

【2】 支出

事項	予算額	説明
活動費	180,000	
通信費等	110,000	
会議費等	30,000	
事務費等	50,000	
120年事業費	100,000	DVD購入
支出合計	470,000	

* 次年度繰越金 862,717円

【母校便り】

◆ いざ！工科へ・・・さようなら！！「墨田工業」

122年の伝統を誇る母校は、将来のDX社会を担う技術者を育成するため「東京都立墨田工科高等
学校」と4回目の衣替えをしいよいよスタートです。

コロナ禍は相変わらずですが、これまでの対処の知見を踏まえある程度の活動が緩和されました。令和4年度は3年ぶりに「文化祭」や「球技会」などが開催され、平常の状態に戻りつつあります。

◆生徒・職員の状況(令和4年12月現在)

学年	生徒数	担任	教職員の構成
1学年	8名(女子0名)	村中先生	*校長 古藤一弘 *副校長 山本将英 *教諭:機械・電気・建築大工・自動車コース 各3名 *国語・数学・英語・公民・保健体育・養護 各1名 計18名 *時間講師6名 *経営企画室 室長ほか7名(スクールカウンセラー1名)
2学年	8名(女子0名)	宇田川先生	
3学年	12名(女子0名)	岡野先生	
4学年	5名(女子0名)	宮崎先生	
総数	33名(女子0名)		

◆主要行事

1. 生徒関係

- *令和3年度 卒業式 令和4年3月11日 卒業生 12名
- *令和4年度 入学式 令和4年4月7日 新生入生 9名
- *令和4年度 卒業式 令和5年3月4日(予定) 卒業生 5名(予定)(12月19日現在)
進路決定者:就職希望者3名、内定0名 能力開発センター 2名

2. 会議等

①学校運営協議会

学校、保護者、地域及び学友会等関係者がよりよい学校運営のために協議する場です。

令和4年度は3年ぶりに委員が顔を合わせての会議となりました。

- ① 令和3年度 第3回 令和4年3月29日 書面会議
- ② 令和4年度 第1回 令和4年7月19日 通常開催(Next Kogyo START Projectの概要
その他、主要事業の説明と質疑が行われました。
- ③ 令和4年度 第2回 令和4年12月19日通常開催(GIGAスクール構想の取り組み、VRを活用
した教育の取り組みなどについての報告がありました。

* GIGA(ギガ)スクール構想:全国の児童・生徒1人に1台のコンピュータと高速ネットワークを整備する取り組み

* VR(バーチャルリアリティ):仮想世界を実際に存在するように体験することのできる技術

②学校防災教育推進委員会

地域と連帯した防災教育のあり方と生徒の自助の力と共助の心を育むための会議で令和4年7月
に開催された学校運営協議会に併せ開催されました。

3. 教職員の異動

(敬称略)

転出(令和4年3月31日付け)	転入(令和4年4月1日付け)
・教諭(機械) 福田博幸(練馬工業・全)	・教諭(機械) 小澤信一郎(葛西工業)
・教諭(自動車) 渡邊 毅(北豊島工業)	・主任教諭(自動車) 廣岡正一(科学技術)
・教諭(建築・大工) 須賀 武(港特別支援校)	・教諭(建築・大工) 大和田隆寛(蔵前工業)

※その他 大学院修学休業 佐久間 渉(機械)

☆転出された皆様お世話になりました。有難うございました。☆転入された皆様よろしくお願ひいたします。

【特別報告：区道3140号の道路愛称命名活動（第3報）】

※ 江東区長「道路愛称名設定提案書」正式に受理

この活動は令和2年12月1日、江東区議会に陳情書を提出してから2年余を経過しました。

この間、令和3年、4回、令和4年、2回（3月、6月）の建設委員会にて継続審議となつてはいますが、ようやく、事務局（江東区土木部道路課）から提案書を受理するとの意向が示され、令和4年9月27日に「提案書」を提出、正式に受理されました。

しかし、現在も、事務局にて審査を継続中で結論が得られておりません。長い時間を要している主な理由は、提案書の必須条件である「地元沿道区民の同意」が不備なためです。

猿江1丁目、2丁目町会の同意書はスムーズにいただいたのですが、最も学校に近接する森下五丁目の町会長の同意が得られませんでした。当初、区議会に陳情した際には積極的に同意をいただいたのですが、その後、町会での議論の中で問題が生じたようで、長い時間をかけ説得に当たりましたが森下五丁目としての同意が得られませんでした。

森下五丁目町会長は学友会の「理事・副幹事」の要職にありました。最も力になっていただけるものと期待をしておりましたのでまことに残念な結果となりました。やむなく、その間のお経過を付した提案書を作成して正式に申請し、受理されたものです。

その後、事務局からの指導と建設委員会の諸先生方のアドバイスをいただき、道路沿いの住民の方々を訪問し、個別に説明して同意を得る作業を続けております。決定までにはなお、時間を要するものと思われます。この間の墨工同窓会「司茂会長」の献身的な努力に深く敬意を表します。

区道3140号愛称命名設定区間 延長約1300m



【会員便り】

快挙！ 安齋正一氏（39M1卒）経済産業大臣表彰を受賞

安齋正一氏（学友会評議員）は長年にわたり計量事業に関する発展に寄与した多大な功績が認められ2022年度経済産業大臣の計量関係功労者表彰を受賞しました。その功績は2023年1月1日の「日本計量新報」に大きく取り上げられました。 **受賞・・・おめでとうございます！！**

安齋氏は、82歳を迎えた今もなお現役として東京都の豊洲市場で活躍されておられます。安齋氏は“私の人生を大きく発展させた墨工の思い出に感謝でいっぱい”と申しておりました。学友会としても誇らしい気持ちでいっぱいです。

安西氏の功績は学校公式ホームページでも紹介されております。今後の益々のご活躍を祈念しております。

【会員情報】

1. 会員数

* 学友会々員数 1,458名(1949年以降の会員数。永眠された会員を除く)

* 連絡可能会員数 1,236名

ただし、このデータは第5回総会(2016年)の資料を基にその後の連絡を受け会員を修正したものです。そのため、現在の実数とは大きく異なるものと想定しております。

2. 新規入会

* 令和3年度新規卒業生 10名に入会いただきました。

有難うございました。今後ともよろしく願いいたします。

* 令和4年度卒業生は5名の予定ですが・・・？



3. 役員の変動

* 理事・副幹事 菊谷茂夫さん(43A) 辞任

* 永眠された会員

山本順一郎さん 理事(S27A卒 令和3年12月17日 90歳)

牧 允男 さん 評議員(S32A卒 令和2年)

長い間学友会活動にご尽力いただき有難うございました。安らかな永眠を心から祈念しております。

* 連絡不能となった評議員

高見重興さん(S33E) 清家誠氏さん(H17G) 中山克忠さん(H20A)

* 役員構成

理事 24名(評議員から選出)

評議員 121名

(内訳 機械科(M)34名、電気科(E)16名、建築科(A)29名、総合科(G)42名)

◎会員の皆様は連絡先が変わりましたら必ず事務局にご連絡ください！！

連絡がいただけないと個人情報の関係から事務局で調査をすることが難しいので連絡ができなくなってしまう。

【事務局】

〒135-0004 東京都江東区森下5-1-7

東京都立墨田工業高等学校 学友会(同窓会)

TEL 03-3631-4928 FAX 03-3846-6683

【事務局からのお願い】

コロナ禍は形を変えてなかなか落ち着かず、学友会活動も低調のまま推移しています。役員の高齢化も顕著で校名変更のタイミングで学友会を休止しようとの声もあがりました。しかし、「継続こそが宝」との声のもと老骨に鞭を打って頑張っています。「アラムナイ」作成のパソコン操作に堪能な会員のご支援を心からお願いいたします。